

衆議院(小選挙区選出)議員選挙公報(東京都第12区)

東京都選挙管理委員会



国民のために、東京都第12選挙区 高市総理と共に全力!

高市政権の
重要公約

食料品消費税をなくす(2年間)
社会保険料の負担見直し

北区全域
板橋区北部

板橋区北部
北区全域

坂下1丁目27・29～41、坂下2・3丁目、
東坂下2丁目、蓮根1～3丁目、相生町、
高島平1～9丁目、新河岸1～3丁目、
舟渡1～4丁目

自民党総裁選では高市候補の推薦人に

私は令和7年10月の自民党総裁選で、高市早苗候補の20人の推薦人の一人に名を連ね、全力で応援しました。それは高市候補が、安倍総理の目指した「戦後レジームからの脱却」を最も確かな政策で実現すると確信したからです。自民党が「政治は国民のもの」という原点に立ち返り、「保守政党」として皇位継承問題や憲法改正にしっかりと取り組むことが何より必要です。わが国の平和と安定、そして豊かさを実現できる国をつくるために、これからも高市総理と共に全力で国政に取り組みます。

高木けいプロフィール

自民党衆議院東京12区支部長
(北区全域・板橋区北部)

昭和40年生まれ。十歳台小、十歳中、立教高校、立教大学社会学部卒。北区議3期、都議会議員3期、都議会自民党幹事長など歴任。平成29年衆議院議員初当選。令和3年衆議院議員2期目当選。令和6年衆議院議員3期目当選。現在、自民党外交部長、日本成長戦略本部代理、責任ある積極財政を推進する議員連盟 幹事長代理

自民党・外交部会長(党の外交政策の司令塔)

【国益第一に日本外交の最前線】

令和4～5年に外務大臣政務官を務め、高市政権では自民党外交部長として党の外交政策を主導。国益を第一に、同盟国・同志国及び世界の友好国と共に、平和で安定した世界の構築に努力。

自民党・日本成長戦略本部代理

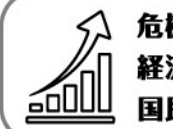
【経済財政政策の転換を主導】

高市政権の「責任ある積極財政」は、私も中心に関わる自民党「責任ある積極財政を推進する議員連盟」の成果。経済成長と財政健全化が両立する理論を作成し、政策の軸に。

日本列島を、強く豊かに。

「責任ある積極財政」で、 税率を上げずとも税収を増やす

比例代表も
自民党へ



危機管理投資、成長投資で
経済成長する国へ。中小企業支援、
国民の生活実感改善!



排外主義でない、国民が納得できる
外国人政策の構築、国も地方も
秩序ある共生社会の実現!



国土強靱化で徹底した
生活インフラの充実、万全の各種
防災対策で、安全・安心の地域社会!



経済・食料・エネルギー等
各種安全保障と外交力、防衛力の
強化で総合的な国力増強!



医療・介護施設等を守る安心社会。
子育て・教育・奨学金等、
子供・若者支援の拡充!

高木けいの
K点超え2.0



インスタライブ、21時から毎日配信!



自民党公認
**高木
けい**

動かすぞ、阿部司が。

「国民負担にメスを! やるぞ、動きはじめた政治」

与党維新、国を動かす。阿部司も動かす。高市政権のアクセル役として、政策が次々と実現しています。私も総務会長・政調会長代行として改革の中心で動いてきました。50年続いたガソリン暫定税率の廃止、電気・ガス料金補助による物価高対策、社会保険料を下げる医療改革。外国人政策調査会の事務局長として、野放図だった外国人政策の見直しも進めています。野党で叫ぶ時代は終わり、与党で届ける政治へ。

1982年東京都生まれ。早稲田大学商学部卒業。その後、外資系IT企業の日本ヒューレット・パカードを経て、元官僚が設立した政策シンクタンク「青山社」にて政策コンサルティングに従事。特技は学生時代に打ち込んだ剣道(三段)。好きな物は、食べ歩き、サウナ。家族は妻と子供3人子育て中。北区田端新町在住。2021年衆議院議員選挙にて初当選。2024年衆議院

議員選挙当選(2期目)。
現在、日本維新の会国会議員団政調会長代行東京維新の会代表、衆議院内閣委員会理事等を歴任/212国会三ツ星国会議員受賞/日本維新の会前総務会長/AIと民主主義に関する超党派勉強会副会長として国会DX・AI活用推進中

阿部司 維新 検索 mail@abetsukasa.jp

国会議員団政調調査会長代行、前総務会長
東京維新の会代表

2024.12 総務会長就任

「社会保険料を下げる改革」を党の旗印に掲げ、全国で発信。世論を動かし、政府を動かした。今の改革はここから始まった。

2025.8 政調会長代行就任

連立与党の政策責任者として交渉の最前線へ訴え続けた政策が、高市政権で実現

- ☑ ガソリン暫定税率廃止(50年ぶり)
- ☑ 電気・ガス料金補助
- ☑ 医療費1兆円削減
- ☑ 介護職員 月1.9万円処遇改善
- ☑ 政府効率化局の設置
- ☑ 人口戦略会議を政府に創設

動かすぞ、阿部司が。



日本を動かす。

- ☑ 外国人政策を見直し、秩序あるルールをつくる
- ☑ 消防団強化・避難所改善、災害に強い国へ
- ☑ 自衛隊員の待遇改善、国を守る人を守る

政治を動かす。

- ☑ 議員定数1割削減、まず自ら身を切る
- ☑ 政府効率化局を稼働、税金の無駄を削る
- ☑ 憲法改正を国会発議、止まった政治を動かす

暮らしを動かす。

- ☑ 社会保険料を下げて、給料をそのまま届ける
- ☑ 食料品の消費税0%で、家計をラクにする
- ☑ 子育て支援をデジタル化、届くべき人に届ける



日本維新の会 公認
阿部司
あべつかさ 43歳

生活に余裕を。平和に責任を。温かい社会をあなたとつくる。

中原翔太プロフィール

- ・1992年4月6日、長野県松本市生まれ
- ・早稲田大学社会科学部 卒業
- ・英国パーミンガム大学大学院 修了(国際安全保障修士)
- ・JFEスチール(旧 川崎製鉄・日本鋼管)を経て、元厚生労働大臣 長妻昭 公設秘書
- ・趣味は、カラオケ(学生時代はバンドのボーカル)銭湯めぐり、健康のために始めたマラソン
- ・好きな食べ物は、ラーメン
- ・申年・牡羊座・AB型・33歳。



私の右腕、即戦力です!

中原君は、暮らしの現場をまっすぐに見る青年です。「この政策は本当に役に立つのか」という視点を、常に忘れません。政治を必要とする人に、政治を届けたい。その想いで行動してきた中原君を、私は全力で応援します!

ミスター年金 ながつま 翔太

詳しい政策は
こちら▼



私が目指す社会

生活に余裕があり、人々が支え合える「温かい社会」を目指します。生活の不安が減れば、社会に余裕が生まれます。そして、平和があつてこそ生活は成り立ちます。生活の不安を減らし、平和を守ることを、政治の最優先課題にします。

私が実行する具体的な政策

生活の不安を減らす

- 成長分野への戦略的投資や製造業の国内回帰を進め、安定した雇用を生み出します。
- 中小企業の賃上げにつながる公正な取引環境を整え、地域経済を底上げします。
- 政府系ファンドや基金を活用し、財源を確保した上で、毎日の食卓を支えるため、食料品にかかる消費税を引き下げ、生活に直結する負担を軽減します。

若者の雇用と住まいを安定させ、少子化を食い止める

- 正社員と非正規の不合理な待遇差を是正します。
- 投機目的の不動産取得に歯止めをかけます。あわせて空き家の再利用を進め、家賃や住宅価格の高騰を抑えます。
- 育児・産休の所得保障を進め、子育てに参加しやすい社会をつくり出します。

平和を守る

- 国際協調を基本に、現実に向き合う安全保障を進め、命と暮らしを守ります。
- 日本同盟を基軸に、多国間安全保障協力を進めます。
- 日本独自の情報収集能力を高め、危機を未然に防ぎます。
- 自衛隊の待遇改善を進めます。

分断ではなく、包み込む政治へ

排外的な主張や分断をあおる政治には与しません。不安の背景に向き合い、対話と協調で、誰も取り残さない温かい社会を実現します。



中道改革連合公認

中原
しょうた

(この選挙公報は、公職選挙法(昭和25年法律第100号)第169条第3項の規定により、候補者から提出された原稿をそのまま製版の上掲載したものです。)

投票日 2月8日(日) 午前7時から午後8時まで

急な総選挙の実施により、投票所入場券の発送の遅れが見込まれています。
仕事やレジャーなどで投票日に行けない方は、期日前投票ができます。

- ・期日前投票期間 1月28日(水)～2月7日(土) 午前8時30分から午後8時まで
 - ・期日前投票所 お住まいの区・市役所、町・村役場やその出張所など
- ※最高裁判所裁判官国民審査は2月1日(日)からです。

(期日前投票ができる日時は期日前投票所によって異なります。詳しくは区市町村選挙管理委員会のお知らせ等でご確認ください。)

東京都第12区に属する区域

◎北区の全域

◎板橋区の次の地域

坂下1丁目(27番、29番から41番まで)、坂下2丁目、坂下3丁目、東坂下2丁目、蓮根1丁目～3丁目、相生町、高島平1丁目～9丁目、新河岸1丁目～3丁目、舟渡1丁目～4丁目

衆議院(小選挙区選出)議員選挙公報(東京都第12区)

東京都選挙管理委員会

自民党政治そのものを変える改革を

国民のためにブレずに働きます

私は、介護現場で10年働いたのち、労働組合運動に20年取り組んできた経験から、働く人々が幸せになれる社会をつくりたいと、心から願っています。

富の一極集中が進み、株価と大企業の利益が史上最高となる一方、実質賃金は12年間で年額34万円も減少。大企業・大金持ち優遇の税制や軍事費増額などを見直して30兆円の財源をつくり、暮らし応援の政治に変えます。

田原聖子プロフィール

1969年埼玉県深谷市生まれ。介護福祉士。和泉老人福祉専門学校卒。介護現場で10年働いた後、東京介護福祉労組書記長、東京自治労連副委員長など歴任。夫と子ども2人。趣味は着物リメイク、韓国ドラマ鑑賞



↑ホームページ

1. 大株主・大企業応援から国民の暮らし第一へ

給料・年金をあげる政治に

- 物価高騰を上回る大幅な賃上げを
- 消費税の廃止をめざし、ただちに5%に減税。インボイスは廃止に
- 医療費4兆円削減をはじめ社会保障の削減・抑制をやめ、医療・介護の危機を打開
- 物価高にみあう年金額に引き上げる

2. 「力の支配」をふりかざすアメリカ言いなりをやめ

憲法9条生かした平和外交を

- 軍事費の増額に反対し、軍事費「GDP比3.5%」=21兆円を許さない
- 非核三原則の放棄を許さず、核兵器禁止条約への参加を求める
- 高市首相の「台湾発言」の撤回を求め、対話による平和な日中関係をめざす

3. 差別と分断を許さず

ジェンダー平等社会の実現を

- 選択的夫婦別姓、同性婚の法制化実現
- 男女賃金格差の是正を
- 女性へのあらゆるハラスメントを根絶し、包括的教育を広げる
- 差別と分断をあおる極右・排外主義の政治に断固として反対を貫く

日本共産党
せたいはら
聖子
田原

比例代表は日本共産党とお書きください

「税金を取る側の政治」から「納める側の政治」へ
『もっと』手取りを増やす！現役で子育て中
投資銀行15年
スタートアップ経営

1 手取りを増やす減税・負担軽減

- 「年収の壁」の所得制限撤廃、住民税の控除額引き上げ
- 消費税減税（実質賃金が持続的にプラスになるまで消費税を一律5%減税）
- 電気代値下げ（再エネ賦課金の徴収停止、原子力発電所の稼働、増設）
- 現役世代の社会保険料の軽減（新たな給付金制度の創設、負担能力に応じた窓口負担）

2 給料・年金が上がる経済の実現

- 積極的な経済政策で「令和の所得倍増」
 - 減税、負担軽減、物価高対策による消費拡大
 - 半導体・蓄電池・AI・Web3.0等成長分野やスタートアップへの投資促進
- 介護職員、看護師、保育士等の給料を10年で倍増
- 年金額に連動する賃上げ（給料が上がれば年金も上がる）

3 人づくりこそ、国づくり

- 年少扶養控除の復活
- 子育て・障害児福祉・奨学金の所得制限撤廃
- 奨学金債務減免、給付型奨学金の拡充
- 「教育国債」発行で子育て・教育・科学技術予算を倍増
- 就職氷河期世代支援（就労支援、年金最低保障機能強化）

4 自分の国は、自分で守る

- 外国人土地取得規制、領海・国境・離島防衛強化、スパイ活動防止対策強化
- 外国人旅行者への消費税免税制度の見直し、入国税（観光税）の課税拡大
- エネルギー、食料、医薬品・医療機器、半導体等の国内調達の拡充
- 海洋資源開発庁の創設によるレアアース探掘、ガス田開発の促進

5 正直な政治と地域づくり

- 企業・団体献金の透明性向上（受け手規制、上限規制）
- 国会議員定数の削減、衆議院での中選挙区連記制導入
- 国・都・区の連携強化による地域活性化（デジタル通貨導入支援など）

プロフィール

1983年(昭和58年)生まれ。中小企業を経営する妻と、6歳の息子の3人家族。早稲田大学法学部、一橋大学国際・公共政策大学院、IE Business School(スペイン)修了(MBA)。学生時代は家計を助けるため学生寮で共同生活。日系・外資系投資銀行にて日本企業の経営・グローバル化を支援。その後、スタートアップの経営に参画。ボランティアで学生寮の経営を行い、学生の就学を支援。趣味は釣り、旅行、読書、野球観戦。

国民民主党
公認
ゆうき
勇樹
くすみ

ひとりひとりが日本

今、我が国は危機的な状況に直面しています。30年に渡る景気低迷、苦しくなる一方の国民生活。世界では紛争が続く、食料自給率の低下、エネルギー問題、少子化や移民問題など、国の存亡に関わる課題は手つかずのまま。明るい未来が見えない社会情勢の中で、子供たちは受験戦争にもがき苦しめ、家族観や結婚観という日本人らしいアイデンティティは破壊されようとしています。この状況を解決するには、日本人のひとりひとりが立ち上がるしかありません。政治家やテレビや新聞に任せるのではなく、ひとりひとりが日本そのものであると自覚し、考え行動する時がきたのです。「ひとりひとりが日本」未来を変えるのはあなたの覚悟と想いです。日本はまだ間に合う。

“3つの柱と9の政策”

1 日本人を豊かにする
の柱
～経済・産業・移民～

1 “集めて配る”より、まず減税
減税と社会保険料の削減により、国民負担率を35%に抑え、積極財政による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。

2 日本はまだ間に合う“NO! 移民国家”
労働力不足の解決を、安易な移民依存に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受入れと外国人の土地取得を制限します。

3 現場の人が支える日本
製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察・消防・自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働ける社会をつくれます。

2 日本人を守り抜く
の柱
～食と健康・一次産業・エネルギー～

4 食は人の天なり
食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給率を高め、国民が決して飢えることのない体制を整えます。

5 エネルギーと資源確保が生命線
諸外国も見直しを進めている脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定したエネルギーを国内で確保します。

6 安心医療で健康国家
過剰な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えています。

3 日本人を育て
の柱
～教育・人づくり・国家観～

7 子ども一人につき月10万円
0～15歳の子供一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授かり育てたいと思える環境をつくれます。

8 受験戦争からの解放
偏差値重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正当に評価される教育へと転換します。健全な人格を育てます。

9 日本はみんなの家
日本の国力が衰える中で、国際情勢も緊迫してきました。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起こし、日本の豊かさで平和を守ります。

比例は
参政党

とお書きください。

参政党の政策は▶
こちらの特設サイトから！

プロフィール

黒石ゆうこ (34歳)

埼玉県出身。長崎大学経済学部卒。東京にて会社員として勤務。学生時代より若者の政治参加に向けた活動をしており、この度、子どもたち、若者、子育て世代の未来のため国政にチャレンジ。

参政党公認
ゆうこ
黒石

(この選挙公報は、公職選挙法(昭和25年法律第100号)第169条第3項の規定により、候補者から提出された原稿をそのまま製版の上掲載したものです。)

投票日 2月8日(日) 午前7時から午後8時まで

急な総選挙の実施により、投票所入場券の発送の遅れが見込まれています。
仕事やレジャーなどで投票日に行けない方は、期日前投票ができます。

- ・期日前投票期間 1月28日(水)～2月7日(土) 午前8時30分から午後8時まで
 - ・期日前投票所 お住まいの区・市役所、町・村役場やその出張所など
- ※最高裁判所裁判官国民審査は2月1日(日)からです。

(期日前投票ができる日時は期日前投票所によって異なります。詳しくは区市町村選挙管理委員会のお知らせ等でご確認ください。)

東京都第12区に属する区域

◎北区の全域

◎板橋区の次の地域

坂下1丁目(27番、29番から41番まで)、坂下2丁目、坂下3丁目、東坂下2丁目、蓮根1丁目～3丁目、相生町、高島平1丁目～9丁目、新河岸1丁目～3丁目、舟渡1丁目～4丁目